

平成28年度 若年技能者人材育成支援等事業

# 技能士活躍 好事例集

企業向け

「自社に技能士を持つ」メリット

PROFESSIONAL SKILLS



一般社団法人全国技能士会連合会  
中央技能振興センター



中央職業能力開発協会



# はじめに

技能士とは、職業能力開発促進法に基づき昭和34年から実施されている技能検定に合格した者に与えられる称号です。

技能検定は、働く方々の技能の程度を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度で、働く方々の技能と地位の向上を図ることを目的に実施されております。これまでに600万人以上の技能士が誕生し、製造業、建設業、サービス業などの現場で活躍されています。

しかしながら、「ものづくり立国」として高い技術を誇ってきた我が国も、少子・高齢化による生産年齢人口の減少、若者のものづくり離れの傾向などにより、長年にわたって培ってきた技能を引き継ぐ後継者不足が大きな問題となっています。

本書では、このような問題意識の中、技能検定を社員の育成に活用し、技能の継承や働く人々の地位の向上、企業の成長等に繋げている事例を紹介しています。

若年技能者の育成に取り組まれる企業や各種業界団体等において、本書を参考にして頂き、企業の活性化・成長に貢献できれば幸いです。

また、教育機関においては、企業内における技能士の処遇や働きがい等を知ることにより、ものづくり産業への進む動機づけとなれば幸いです。

なお、本書の作成に当たり、ご多忙の中、取材にご協力いただきました関係の方々に対し、誌面を借りて厚く御礼申し上げます。

平成29年1月  
一般社団法人 全国技能士会連合会  
中央技能振興センター  
(中央職業能力開発協会)



# Content 目次

事例1	株式会社小野工業所	4
事例2	三村鉄工株式会社	8
事例3	東亜工機株式会社	12
事例4	有限会社佐々木建築	16
事例5	ザ・プリンス パークタワー東京	20

技能競技大会とは	24
都道府県技能士会・連合会一覧	25
「技能検定」のご案内・「ものづくりマイスター制度」のご案内	26
「技のとびら」技能検定制度等に係るポータルサイトのご案内	27

## 技能検定制度とは…

働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。詳細は26ページ「技能検定」のご案内、27ページ「技のとびら」ポータルサイトのご案内をご覧ください。

## 技能競技大会とは…

若者の就業意欲の喚起や円滑な技能継承のため、技能五輪全国大会をはじめとする各種競技大会が開催されています。詳細は24ページ「技能競技大会とは」をご覧ください。

# PROFESSIONAL SKILLS





事例1

# 株式会社小野工業所

## 》 会社概要

企業名：株式会社小野工業所  
〒130-0011 東京都墨田区石原4-12-1

業種：建築板金

設立年月：1927(昭和2)年6月

資本金：3,000万円

従業員数：100名

事業内容：建築板金工事。銅板、チタン、ステンレス等を主とし、古来の社寺建築から、現代建築にわたる建物の屋根および板金工事。

施工実績：およそ6,500件。靖国神社、身延山久遠寺、成田山新勝寺、築地本願寺、日本銀行本店、大阪支店、三菱一号館美術館など。



## 技能士の資格取得を積極的に支援して、 技能の継承を大切にする



代表取締役

小野 友子  
(おのともこ)

### 職人集団によるハンドメイド

当社は建築業の中にあって、金属板屋根葺きの専門業者です。銅板、チタンなどの板を加工し、神社仏閣、特殊建造物または文化財等の屋根を葺き上げていくという仕事を数多く請け負っています。

素材の切断から、ハゼ(曲げ)加工、屋根への葺き上げまで、1枚1枚をすべて職人の手加工で、1件1件仕上げ

いくものです。

創業は昭和2年、直用、専属外注合わせて60数名の職人を抱え、それぞれの現場を賄っています。施主、設計の専門家からの期待や要望に応えるべく、会社と職人が一体となって現場に向き合っています。

屋根の機能性を確保しながら、その意匠性を維持または高めていくための先人たちの知恵と技術を受け継ぎ、頑張っています。その取組み、技術力を評価いただき、現在、リピート注文も多くいただいています。

### ■ 技能士数

職種名	特級	1級	2級	3級
建築板金(内外装板金)		22人	3人	

### ■ 技能検定 年間受検者数

平成28年度		平成27年度		平成26年度	
受検者	合格者	受検者	合格者	受検者	合格者
—	—	—	—	—	—



### 技能士の育成

前述の様に当社にとりまして、職人の技術力は必須のものであります。一般によく表現される「腕の良い職人」、そういった技能士を常に直用として抱え、また、新人をも育てていくことが会社にとりましては、大変大切な取り組みとして考えております。

一言で腕の良い職人と申しまして、その要件は多岐に渡ります。手先が不器用では困ります。段取りの良いこと、一枚一枚の葺き上げですから、集中力と根気があるということも不可欠です。

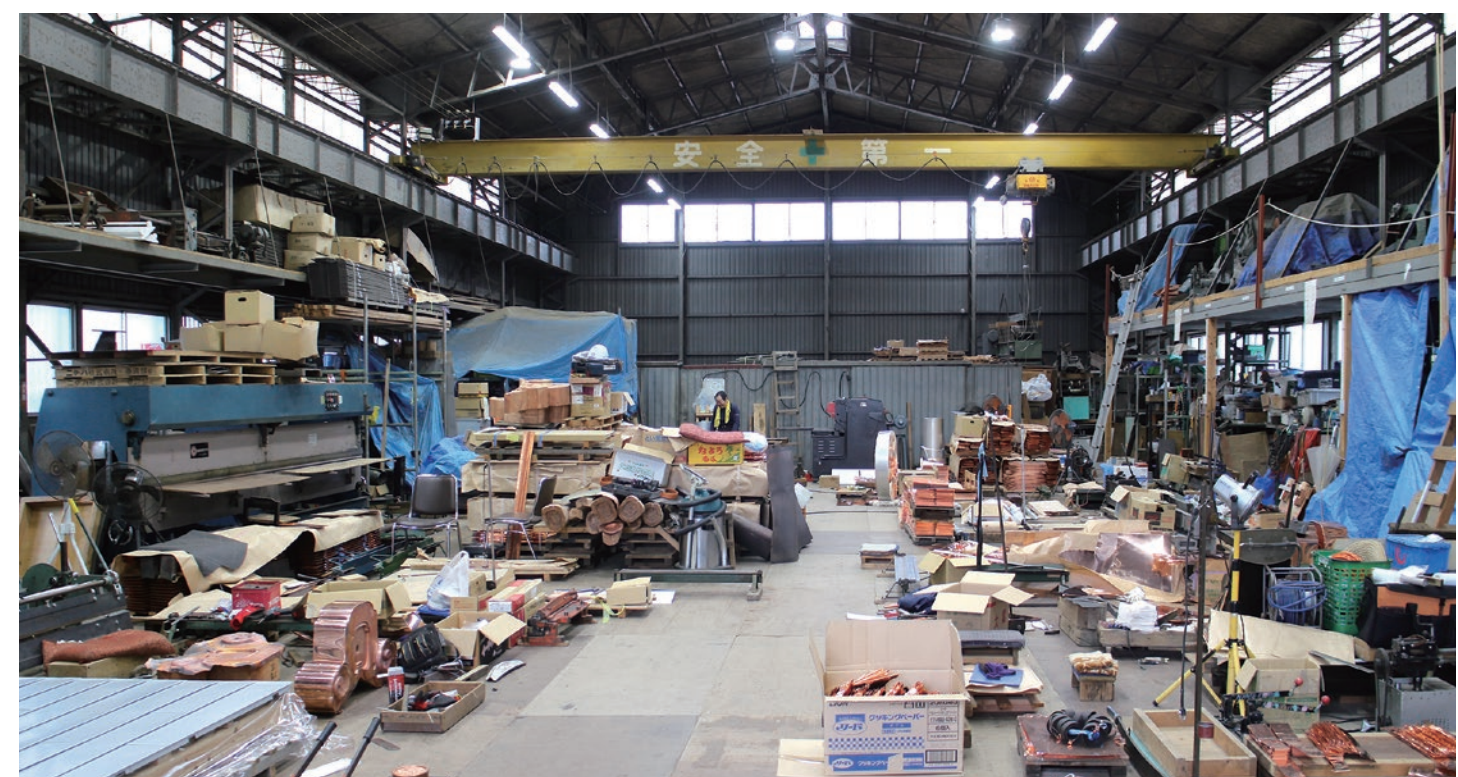
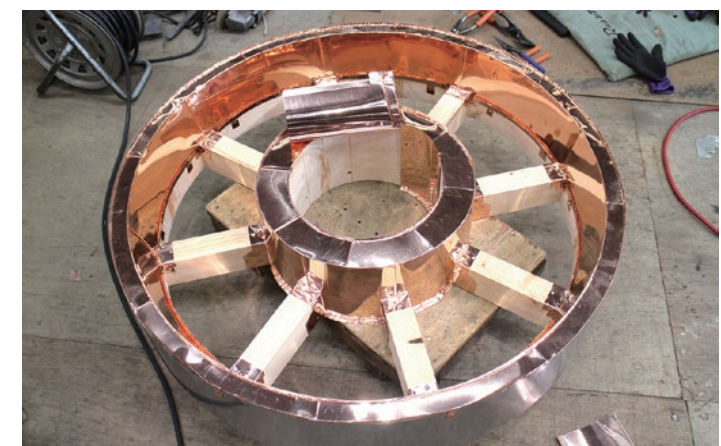
屋根の上の作業が中心ですので真夏の日射しに耐えられ、(夏の銅板の上では目玉焼きが焼けます。)冬の霜の降りた屋根上の作業、また積雪を払っての作業もこなせる体力をも備えていなければ続きません。

当社では、直用する技能士を絶やさないため、毎年、新卒者3名程を採用してきました。しかし、その年によっては1名し

か残らないこともありました。

全国の出張現場が多く、現代の若者にとっては、昼、親方から仕事を習うのはあたり前でも、夜も朝も親方と過ごすことは…ちょっと耐えられなかった人もいるでしょう。また、夏・冬の厳しさに体の続かなかった残念な人もいました。

その様に皆、それぞれに自己研磨、試練を乗り越えられた若者だけが残り、腕を磨いていきます。





## 検定への取組み

どんなに好きで選んだ職業でも、一人前になるためには厳しい技能士の世界です。それを支えるために、会社としてはフォローアップ、モチベーションの維持のためにいろいろな方法をとってきました。その一環として、技能検定受検のための支援を行っています。

当社では、1級の建築板金技能検定の受検に必要な7年の実務経験を重ねた技能士で、受検を希望する者には全員が受検できる体制を整えています。晴れて1級に合格したあと、希望する者には、最近特に高い評価を受けている「基幹技能士」という資格試験を受検できる環境もつくっています。

現在、直用の技能士の85%が1級技能士を取得し、すでに10数名が基幹技能士の資格を取得して、現場で親方として活躍しています。もちろん、有資格者には手当も付加しています。

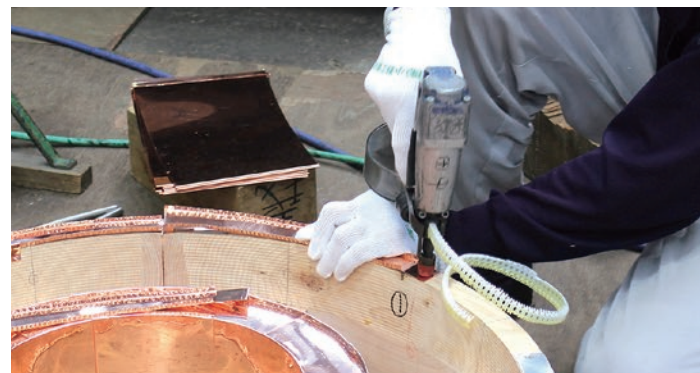
## 技能士の継承

当社にとって重要なポストにある現場技能士、その育成という目標をしっかりと念頭におき、継続的に新規採用を行い、そ

の成長のために1人1人に対してでもできる限りの配慮をもって臨んできました。その結果、現状ではどの業界でも難しいといわれている世代交代も、当社では比較的スムーズに進行していると思われま

す。施工会社としては、文化的意匠性を要求される現場に対して、伝統の技術、経験を積んだ確かな技能を提供すること、そして、先人の培ってきた専門職人としての技術・技能をいまに受け継ぎ、次世代に継承させていくこと、この2つの点が当社の使命であると肝に銘じ、社員全員が精進の日々を送っています。

親方になりたての30歳代の若い技能士が、前回の出来を褒められ、リピートオーダーとして現場に指名されていく姿を見ると、頼もしく、うれしく感じる今日この頃です。



実務経験7年が過ぎると必然的に技能検定に挑戦しなければなりません。私は平成20年に1級の技能士となりました。

入社すると親方の下に入り、7年間学校で学ぶようなことを毎日の仕事の中で身につけていきますから、7年が経つと自然に1級の技能検定を受けるようになります。検定試験では、普段身につけたことを発揮するだけなので、試験そのものはそれほど難しいことではなかったです。

1級の技能検定では実務経験年数7年が必要ですが、受検にあたっては、7年経って自分がどこまでできるかを試すよい機会だと思って取り組みました。会社では腕を認められていても、会社の外では客観的にどう認められるのかを知るためにもよい機会だと思いました。実際に受検してみると、試験会場の独特の緊張感がありました。普段現場で何気なくできていることでも、試験会場ではそのままこなせるとは限らないところもあります。そこが技能検定の難しさかもしれない。

### 自分が手掛けたものが 何百年も残るのかもしれない

私の場合、お寺や美術館などのように普段はあまり触れることのない建物、さらには国宝や文化財など人に自慢できるようなものを担当することが多いのですが、こうしたものが仕上がったときには、非常に大きな達成感と喜びを感じます。

また、これらの仕事の現場はそれぞれ独特の雰囲気を持った場所ですので、そういう雰囲気を味わいながら仕事ができるというのは、とてもやりがいがあります。昔の建物や文化財などは何百年も残るものが多いですが、もしかしたら自分が手掛けたものが何百年も残るのかもしれないと思うと喜びと興奮を感じます。

### ものづくりの魅力を感じながら、 楽しんでもらいたい

毎年何人かの新規採用者が入ってきますが、いまでも残って仕事を続けている人は、やる気があって、しかも仕事



に対して何らかの魅力を感じているのだと思います。だからこそ残っているのだと思いますが、これからもその魅力を感じながら、楽しんでやってもらいたいと思います。技能を伝承したいという前に、この気持ちが伝われば嬉しいと思います。

自分の先輩で70歳になる職人がいます。その人に、昔、一生職人は勉強だと教えられました。自分自身で一生勉強しながら、自分の志と技能が若い人たちに伝わっていけばありがたいと考えています。

職人になる、ものづくりをするというのは、自分の持つ力を試すことであり、自分との闘いでもあると思います。自分がものに向き合ってどれだけできるかという挑戦になります。学校を卒業してすぐにこの世界に入っても、慣れないことやわからないことがたくさんあるかと思いますが、面白さとか喜びを感じながら長続きさせるようにしてほしいです。我慢することも大事ですので、少し我慢しながら楽しんでもらえればいいと思います。

株式会社小野工業所で活躍する

— PROFESSIONAL SKILLS —

◇世界で戦える技能◇

# 技能士

望月 大輔 (もちつき だいすけ)



## 職人になる、ものづくりをするというのは、 自分の持つ力を試すこと、自分との闘い

### 会社案内の お寺の銅葺き屋根に感動して入社

昔からものをつくるのが大好きで、小中学校では図画や工作が得意でした。ものづくりが好きで工業高等学校に進み、建築科を選びました。その頃は設計や大工関係のことしか知りませんでした。板金のことなどまったく知らず、せいぜい左官や蔦のことくらいしか知りませんでした。高等学校の先生から、この会社の案内パンフレットを見せられ、そこにお寺(横浜市鶴

見区の總持寺)の銅葺き屋根の写真が出ていました。この写真を見て感動して、こういう世界もあるのかと思い、入社することに決めました。

### 入社して7年経つと、 自然に1級の技能検定を受検

会社では、2級の技能検定を受けずに、はじめから1級の技能検定を受けることになっていますので、1級を受検するための





## 事例2

# 三村鉄工株式会社

### >> 会社概要

企業名：三村鉄工株式会社  
〒769-2105 香川県さぬき市末371番地6  
業種：油圧機械器具製造業  
設立年月：1952(昭和27)年7月  
資本金：2,100万円  
従業員数：140名(事務系31名、技術系4名、技能系105名)  
事業内容：各種油圧シリンダ、シリンダ応用アセンブリの製造をはじめ、精密油圧製品加工、トラック・クレーン部品の製造。  
主な製品：土木機械用オーガ上下シリンダ、土木機械用アタッチメントシリンダ、土木機械用抑制ジャッキシリンダ、産業車両用伸縮シリンダ、産業車両用多段シリンダ、産業車両用起伏シリンダ、建機用サスペンションシリンダ、建機用ジャッキシリンダ、船用ブレーキシリンダ、農機用プラウ回転シリンダ、プラント用水冷式ジャケットシリンダ、一般産業機械用プレス用シリンダ、工作機械用クランプシリンダなど。



## 技能検定を自己形成に役立ててもらおうとともに、その知識と技能を若い人たちの指導のために活用してもらいたい



代表取締役

三村 俊博  
(みむら としひろ)

### 受検準備の残業にも手当、受検料は会社負担

当社ではかなり以前から技能検定の受検を重視しています。技能検定を受検しようとする従業員のなかには、受検の準備のために、早い者は朝7時くらいから出勤して、早出残業という形で練習している者もいます。当社では、早出残業で練習をしても、帰りに残業して練習をしても、どちらの場合にも残業手当が付きます。また、受検料も合格す

るまで会社で負担しています。

技能検定に合格すると朝礼で賞状を渡して、年初の式典で奨励金を支給します。しかし、技能検定に合格したからといって、手当は支給しません。他社では技能検定に合格すると手当を支給するところがあるという話を耳にしますが、当社では支給しません。技能士の資格というのは、会社のためというよりも、本人のためのものだという理解をしているからです。合格したことに対して表彰するのは、本人の努力を評価してあげるという意味です。

### ■ 技能士数

職種名	特級	1級	2級	3級
機械加工(普通旋盤)	1人	2人	4人	4人
機械加工(数値制御旋盤)		3人	13人	1人
機械加工(マシニングセンタ)		1人	10人	2人
機械検査		6人	16人	5人
油圧装置調整		6人	24人	
金属熱処理			11人	
鉄工(構造物鉄工)		1人	21人	
塗装(金属塗装)		2人	7人	
機械保全		1人	20人	4人

### ■ 技能検定 年間受検者数

平成28年度		平成27年度		平成26年度	
受検者	合格者	受検者	合格者	受検者	合格者
20人	13人	27人	18人	26人	19人



### 最新機器にはゲーム感覚で接することも重要

地元の高等学校の出身者の中には、指導する先生のおかげで高等学校在学中に3級や2級の技能士の資格を取得している人が多いです。入社してからも、自主的に受検の準備をしているようで、今年度(平成28年度)前期の技能検定合格率は65%でした。社内的には、技能検定に向けて努力しようというムードが高まっているように感じています。

当社では高等学校を卒業して1~2年くらいで、最新の機械を使って仕事をさせているので、仕事のモチベーションも上がっているのではないかと思います。若い人の中には、NC旋盤やMC(マシニングセンタ)などの機械を、ある意味でゲーム感覚で扱ってもらってよいと考えています。機械の更新のスピードが短くなっていますので、新しいものに柔軟に対応していくためには、若い人のそうした感覚もけって無視できないと考えています。

### ISO基準の測定器の管理校正は機械検査技能士に

技能士の資格というのはあくまでも本人のためのものと理解していますから、現場の作業においては、技能士の資格を持っている者と持っていない者との区別はありません。しかし、作業の流れの中では、この部署については最低でもこれくらいの資格を持っていることが必要だろうという判断はしています。

当社ではISO基準で、社内の測定機器の管理校正を2年に1度行わなければなりません。社内には測定器がさまざまな現場にあり、全部を合わせると1,000点ありますが、これらの管理校正を外部に委託するとかなりの高額となり、費用負担も大きいです。そこで、この測定機器の管理校正を機械検査の1級及び2級の技能士に任せて、社内で処理するようにしています。1級及び2級の機械検査の技能士20名に測定器の管理校正を行わせていますということを明確に証明できますので、ISOの基準を満たすことができます。その意味では、機械検査の技能士の資格を持っている者がたくさんいることに



についての効果があることは事実です。

### 複数の職種の技能検定に挑戦し、多能工を目指してほしい

工場の入り口には技能士の資格を取得した者の名札を掲示したボードがありますが、これだけで自慢しようとは考えていません。製造業としては、すべてはでき上がった製品によって判断してもらうだけですから。

技能検定に合格すること、技能士の資格を取得することは、あくまでも従業員一人ひとりの能力に対する客観的な評価であり、自己の技能を形成していくうえで重要なものであって、自分の足跡を示すものだとして理解してもらうことが大事だと考えています。

それに加えてもう1つ大事なことは、複数の職種の技能検定に挑戦してもらうことによって、多能工となる道を目指してほしいということです。仕事の流れの中では、それぞれの工程に



いろいろな関連性があります。1つの職種の技能だけでなく、複合的な技能を身につけてもらうことによって、自分の工程だけでなく前工程や後工程についても目を配ることができるようになってほしいです。それぞれの工程が済んだものでも、必ずしもそれが完全ではない場合もあり得ます。そうした点をきちんと見分けられるようになれば、最終的には、全体としてより大きなメリットが出てくると思います。

とをやってみて、いろいろと興味が出てくるようになれば次のステップに進んで行けるようになるのではないではないでしょうか。短期間でそれを見極めるのは難しいと思います。

会社として、これからの人材育成を考えた場合に目指すものは「改善」であり、一人ひとりに「気づき」をもってもらうために会社がどのように仕掛けていくか、そのためのコミュニケーションづくりを組み込んでいくことが大切だろうと考えています。



**ものづくりのための人材には若い人が続いでいかなければいけない**

技能検定を従業員が自己形成に役立ててもらうことを希望するとともに、その知識と技能を若い人たちの指導のために活用してもらいたいです。技能士がたくさん輩出されることは、会社の業績の向上にすぐにつながるわけではないですが、工場全体の加工高や品質の向上につながり、さらには顧客からの信頼度も確実に上がってきます。

ものづくりのための人材には若い人が続いでいかなければいけません。かつて、高校生の熱処理の実習を指導したことがありました。高校生だけにいろいろなレベルがありましたが、時間を与えてコツコツとやらせると、確実に伸びていきます。ものづくりを考えてみたとき、少なくとも10年間は1つのこ

三村鉄工株式会社で活躍する  
— PROFESSIONAL SKILLS —  
◇世界で戦える技能◇

# 技能士

品質管理課  
角田 雄亮 (つのだ ゆうすけ)

## 技能検定で自分のスキルをよりいっそう磨き上げ、習得した技能を後輩たちに伝えていきたい

**ものづくりに関わる仕事に従事したい**

私は、大学の工学部を卒業していったん別の企業に勤めましたが、それは営業の仕事で、しかも勤務地は東京でした。もともとは、ものづくりが好きで、ものづくりに関わる仕事に従事したいという希望があり、できれば県内の企業に就職したいと考えていましたので、この会社に移ることに決めました。

入社すると品質管理課という部署に配属されましたが、品質

管理課がどのような仕事をする場所なのか何もわからないまま仕事に就きましたので、最初はかなり戸惑いを感じました。

**入社5年目で機械検査の1級技能検定を受検**

技能検定を受検したきっかけは、会社の取組みで技能士の資格を取得するという目標が掲げられていたからでした。私の場合、入社して5年目に、業務に直接関わる資格取得に取り



組むため、いきなり機械検査の1級技能検定を目指すことになりました。私が担当している業務の中では、社内の測定器の管理を任されていたこともあって、測定器を管理していくうえでも技能士の資格を取得することは必要不可欠でした。

現在の担当部署である品質管理課では、クレーム処理をはじめ不良品を流さないように完成品を確認する作業が中心で、生産現場の各工程における部品の寸法を測定することを主な仕事としています。また、これにともなって、品質の維持管理に必要な測定の精度を保つために、社内で使用している測定器の管理校正も任されています。

**機械検査技能士として迅速かつ正確に測定することを意識**

機械検査技能士として、日常の業務で行っている寸法検査では、各工程の仕事の流れを止めないように迅速かつ正確に測定することを意識し、不具合は許さないという厳しい目で検査を行っています。また、単に不良品を取り除くだけではなく、不良品が発生した原因も究明し、1件でも不良品が減らせるように対応策も考えます。

品質管理課に配属されて、製品の不具合の対応、工場見学、社内巡回など、さまざまな経験をさせていただきました。そのおかげで、技能や知識などいろいろなことを身につける機会を得ました。自分の性格を考えると、私の場合、人から信頼されたいという気持ちを強く持っていますので、品質管理の仕事というのは自分自身にぴったりで、非常に大きなやりがいを感じています。

**今年は油圧装置調整作業の1級技能検定を目指す**

私の場合、技能検定に挑戦することで、普段の業務では得られない知識を身につけることができました。また、技能を習得したことで自分の自信につながり、仕事に対する意識も高まりました。そこで、今年は油圧装置調整作業の1級

技能検定を目指して頑張るとともに、いずれは機械検査の特級を取得したいと考えています。

品質管理業務を遂行していくには、幅広い知識、深い知識を持つ必要があると思いますので、技能検定を目指すことで自分のスキルをよりいっそう磨き上げるとともに、自分で習得した技能をいずれは後輩たちにもきちんと伝えていきたいと考えています。

**知識と技能を得るためには自分の努力以外には方法はない**

自分自身まだ知らないことが多くて、十分なアドバイスにはなりませんが、何でも吸収できる若いうちにこそ、ぜひともいろいろな経験をして、積極的に知識や技能を身につけていただきたいです。若いうちには失敗することを恐れずに、いろいろなことに挑戦してみて、自分が納得できるまで追求していってほしいです。知識と技能を得るためには自分の努力以外に方法はないと思います。あきらめず、くじけずに、頑張ってください。







## 事例3 東亜工機株式会社

# 「錬磨道場」の開設で 1級・2級技能士が20名以上に増加、 社内には特級・1級技能士合わせて約100名在籍



代表取締役社長  
**光武 渉**  
(みつたけ わたる)

### 技能のレベルアップを目的に 「錬磨道場」を開設

当社の従業員は、30歳以下が25%、30～40歳が25%、40～50歳が25%、50歳以上が25%というように年齢的な分布はバランスがとれています。しかし、技術と技能の継承をしていかなければ、将来は成り立たないだろうと危機感を覚えています。そのため、かなり以前から技能検定を受検するように奨励してきました。

しかし、声はかけれど踊る者は少なく、なかなか思うように受検者が伸びませんでした。そこで、2011年から「錬磨道場」というのを開くことにしました。これは、いま持っている技能を基本として、それをもっと深め、レベルアップしていくことが目的です。その成果として、1級及び2級の技能検定の合格者が20人以上に増えるようになりました。現在、当社には特級と1級の技能士が合わせて約100名います。

#### ■ 技能士数

職種名	特級	1級	2級	3級
鋳造	4人	50人	33人	
機械加工	5人	16人	24人	
仕上げ		4人	5人	
木型製作		1人	1人	
機械保全		7人	4人	
管理職で技能検定合格者数	7人	3人	6人	

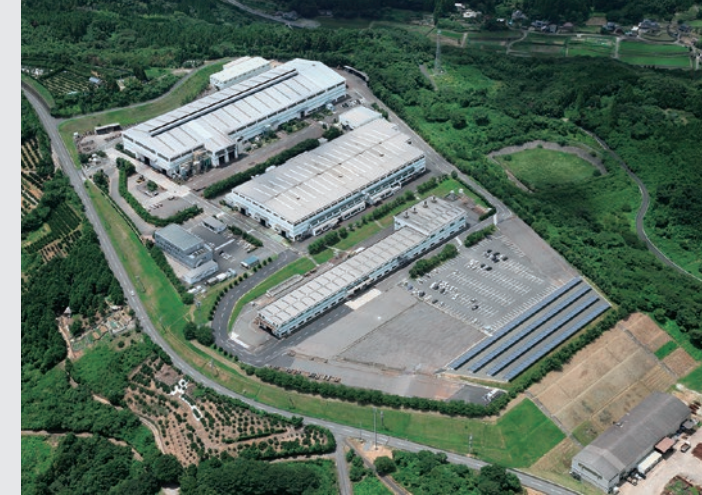
#### ■ 技能検定 年間受検者数

平成27年度(前)		平成26年度		平成25年度	
受検者	合格者	受検者	合格者	受検者	合格者
43人	20人	33人	24人	31人	19人



#### ▶▶ 会社概要

企業名：東亜工機株式会社  
〒849-1314 佐賀県鹿島市大字山浦丁1430-30  
業種：船舶用機械器具製造  
設立年月：1944(昭和19)年6月  
資本金：15,600万円  
従業員数：290名(事務系37名、技術系29名、技能系224名)  
事業内容：各種船舶用機械器具、その他一般機械器具並びに部品の製造。  
主な製品：シリンダライナー、シリンダヘッド、メインケーシング、シールライナーなど。



### 「錬磨道場」では年間計画を立て、 1年をとおして就業時間内に教育

「錬磨道場」の指導者は、特級技能士や現代の名工、それに1級技能士などで、真の技能を持っている人たちです。現在は、鋳造6名、機械加工4名、仕上げ2名を講師として任命し、1年間を通じて従業員を教育しています。

今年度では、旋盤の1級11名、旋盤の2級21名、フライス盤11名、仕上げ23名、鋳造約60名で、40歳以下で経験の少ない者、あるいはもう少し教育をすればレベルが上がるかもしれない者を対象として、重点的に教育しています。「錬磨道場」では年間計画を立てて、1年をとおして就業時間内に教育しています。したがって、現場で人手が不足したりするということはないように配慮しています。

### 技能士の層の厚さで バランスの良い技術

この成果は、売上げにも表れています。従来は船舶用シリンダライナー単品の売上げが95%を占めていましたが、現在では船舶用シリンダライナーの売上げは85%となり、売上げの内容が変化してきました。特に発電所に納めたものは2万時間ごとに点検が必要ですが、この場合、解体して部品を取り換えて再度組み立てて納品します。従来は、この仕事を完了させるためには5か所くらいの会社を渡り歩くことになっていました。しかし、当社では、技能士の職種と人数からわかるようにバランスの良い技術を持っていますので、社内ですべての工程を済ませることが出来ます。

### 10年後の自分はどのような姿か よく考えて仕事をやろう

かつては技能検定を強制的に受検させていましたが、いまは1級の技能士の資格を取得することが当たり前であるような文化が社内にできていますので、自主的に取り組むようになっています。私自身は、勉強する過程やトレーニングをする過程が大事なのであって、検定に合格するかどうかはあくまでも結

果でしかないと理解しています。勉強やトレーニングの過程において、いま持っている自分の技能や技術が広がるし、将来の糧となると考えています。

従業員は、自分たちのつくるものの種類も変わり、仕事も変わってきたということを見ており、自分たちの努力の成果が業績にもつながっているということを理解していると思います。私は日頃、従業員に10年後の自分はどのような姿か、よく考えて仕事をやろうじゃないかと言っています。

### 鋳造の1級技能検定に 女性2名が合格

技能検定に挑戦して技能士の資格を取得した者は、業務に取り組み意欲も変わってきます。技能検定に挑戦し、技能士の資格を取得することは、自分のスキルアップにつながり、ステータスにもなり、第三者の評価を受けたことにより本人の自信にもつながっていきます。その意味では、良い人間形成になると思います。

当社では、1級の技能士に競争意識を持たせるために社内でも実施する検定試験を受けさせて、その結果として順位を公表しています。そして、成績の良い者には特別に研修の機会を与えたり、いろいろ考えられる良いポストにつけたりします。

また、今年は鋳造の技能検定の1級に女性2名が合格しました。どちらも40代後半～50代初めの従業員で、入社して7～8年目です。彼女たちは受検のための準備はしましたが、特別の教育を受けたわけではありません。これはなかなか立派なものだと思います。





### 2級技能士が技能五輪全国大会に出場して上位に入る

会社も工場も地方にあるため、技能について日本の最高レベルは何かということを知るには技能検定を受検すればよいだろうと考えていました。しかし、技能検定だけではそれを判断できないことがわかりました。4年前に旋盤の従業員でまだ1級技能士の資格を取得していなかった者が技能五輪全国大会に出場したところ、上位19番目に入りました。1位から18位まではすべて大企業の人たちで、19位が当社でした。

このことが、社内の者に技能を磨かなければいけないという気持ちを引き出すきっかけをつくってくれました。技能五輪全国大会に出場すると、技能の面で最高のものを目指さなければいけないことを理解しますので、会社においても必ず役立つこととなります。

### 付加価値を生むのは技能以外にはあり得ない

最近では、どの作業工程でもコンピューターが導入されるため、いわゆる技能というものがあまり要求されなくなっています。大手企業の場合は特にそうだと思います。当社では、1人ひとりの技能というものを大事にしていますので、その点で大手企業との差別化ができていると考えています。

かつて95%を占めていた船舶用シリンダライナーの比率が

85%に減り、付加価値の高い製品づくりが増えつつあります。この付加価値を生むものは技能以外にはありません。いま目指すのは付加価値経営です。年間の1人当たり付加価値で年間の賞与を支給しています。もちろん貢献度の有無で差はつきませんが。

### これから目指すものは世界一の技

当社では、各工程についてそれぞれに責任をもって仕事をしてもらっています。したがって、責任をもってやれるだけの技術や技能を持った人でなければ生き残れません。そのためにはよりアグレッシブに取り組んでもらわなければなりません。その一方で、夢や目標を与えられると、いつかそれを実現できる時がやってくると思います。それが当面は1級技能士となることであり、さらには特級や現代の名工を目指すということだろうと考えています。

私は、ここまで頑張ったらここまで行けるんだ、ということがわかるような形で見せられるのがものづくりだと思っています。若い人たちには、より良いものづくりの世界に入って挑戦してもらいたい。それとともに、興味を持った分野についていくだけでもチャレンジできるチャンスをつくることも大切です。

これから目指すものは世界一の技です。世界一の技を持つ技能者集団をつくることです。そして、世界でできないものを当社の技能者集団でつくり上げていくことが目標です。

東亜工機株式会社で活躍する

— PROFESSIONAL SKILLS —

## 技能士



生産管理部担当アドバイザー  
田原 秀美 (たばら ひでみ)

◇世界で戦える技能、

## 「錬磨道場」でよそに負けない技能士を育成していかなければいけない

### 基本作業をきちんと身につけられるように指導

社長はもっぱら人間的な面での教育や指導を行っています。私たちは現場の仕事の面で、「錬磨道場」によってよそに負けない技能士を育成していかなければいけないと考えていま

す。その場合に、一番心掛けていることは、基本作業が大事なので、基本作業をきちんと身につけられるように指導することです。たとえば、機械についてはその機械の構造を知らなければ、使うときにどこに危険があるかなどがわかりませんし、工具であればこの工具がいま削っている材質に対して本当に正しい工具なのか、こうしたことは基本をしっかり理解していな



ばわからないことです。

「錬磨道場」ができる前のことです。当社で鋳物加工をしている者が技能検定の受検準備のために佐賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター）に行ったときに、普段は超硬工具という一番硬い材料を扱うための工具で加工しているのですが、ハイスという一段柔らかい材料を扱う工具を使用したところ、そのハイスが溶けてしまって工具をダメにしてしまったことがありました。ポリテクセンターの指導員からは、この点の指導をきちんとするように言われたことがありました。これは大事な反省材料でした。

### 技能五輪全国大会で入賞者を出すのがいまの目標

一番やりがいを感じたことは、若い従業員たちを技能五輪に挑戦させることができたことです。彼らは技能五輪全国大会がどういうところか知りませんでした。会社だけではなく、よそにはもっとすごい人たちがいるのだということ認識するよい機会になったことでしょうか。技能五輪全国大会でなんとか入賞者を出したいというのがいまの目標です。

私の若い頃には、年配の人たちも技能検定に挑戦することが多かったと思います。私自身は勤め始めて5年目くらいのときに、まわりの先輩たちに勧められて受検しました。1級を取得したのは27歳くらいでした。仕事の後に先輩たちが練習している姿を見て、面白そうだなと思い、自分でも受検を志しました。当時は、同期の人間が十数名いましたので、それぞれ競争して練習に励みました。

### 「錬磨道場」を通じて技能の伝承をしていきたい

私の場合、「錬磨道場」で指導をしている立場ですので、「錬磨道場」に来る若い人たちを指導することで技能の伝承をしていきたいと考えています。指導にあたっては、まず1人ひとりにやらせてみて、どの程度のレベルかを見極めたいので、こういう方法もあるよというようにできるだけ幅広い



技能が身につくように指導しているつもりです。

同じ作業でも、1級の技能士と2級の技能士とではやり方が異なるという場合があります。これは技能の幅広さを意味しています。また、技能の伝承においては、指導する側は根気よく教えていくように努めなければいけないと思います。

### 技能グランプリでは優勝がねらえるようにしたい

技能五輪とは別に技能グランプリというものがあります。これは1級以上のレベルの技能士が参加するものですが、技能五輪では良い成績がとれなかったとしても、この技能グランプリでは優勝がねらえるように指導していきたいです。

私自身のことを振り返ると、技能検定を受検しようとしたきっかけは、先輩たちの姿を見ていたことでした。しかし、受検するうえでの目標というのは、そうした先輩たちに負けないようにしたいということでした。いまの若い人たちも、彼が1級を取得できたのだから自分でも1級を取得するぞ、という強い気概をもって挑戦してほしいです。







## 事例4

# 有限会社佐々木建築

### >> 会社概要

企業名：有限会社佐々木建築  
〒849-4162 佐賀県西松浦郡有田町上内野丙2976-7

業種：建築業

設立年月：1978(昭和53)年3月

資本金：500万円

従業員数：24名

事業内容：新築住宅工事、設計・施工、各種リフォーム、店舗新築・改造。

主な製品：和風一戸建建築、洋風一戸建建築、店舗工事、  
リフォーム工事など。



## 技能士というのは 第三者が客観的に評価したもの、 あとから続く若い人たちにとっても目標となるもの



代表取締役

佐々木 勝一  
(ささき かついち)

### 20年前から自社で職人の育成を開始

建築業の場合、昔から建築作業を行う職人は外注していることが多く、自社で育成しようとはしませんでした。昔に比べて職人が減ってきている中、会社を続けていくためには、社内で職人を育てていかなくてはならないと考え、そこで、当社では20年ほど前から、自社で職人の育成を始めました。

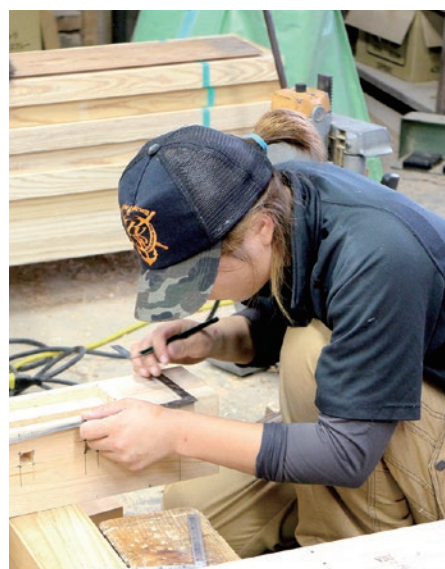
当社の場合、公共工事よりも民間の建築の仕事を手掛けていますので、建築関係の職人をきちんと育成していかなければ仕事を請け負うことができなくなってしまいます。もちろん、自社で職人を育成していくとなると、従業員として雇用するわけですから、会社の負担も大きくなるのは当然です。しかし、それでも職人を育成することは不可欠だと考えました。

### ■ 技能士数

職種名	特級	1級	2級	3級
建築大工		3人	2人	1人

### ■ 技能検定 年間受検者数

平成27年度		平成26年度		平成25年度	
受検者	合格者	受検者	合格者	受検者	合格者
2人	1人	2人	2人	1人	1人



### 大工育成塾を 活用して育成

十数年前に国土交通省が「大工育成塾」という事業を始め、東京、名古屋、大阪、福岡の4か所に開校しました(昨年で募集を停止)。当社でも、若い人を福岡の大工育成塾に入れて指導を受けさせました。この塾は、入塾すると受入工務店で1人の棟梁に付いて、3年間大工の見習いとして技能を学ぶものです。受入工務店で見習いとして働くのと同時に、月に1回2日間大工に必要な講義を教室で受けることになります。当社では、この大工育成塾の受入工務店となっていましたので、入社した若い人は、この大工育成塾で必要な技能と知識を身につけてもらうようにしていました。

### 技能士、建築士の資格取得には 積極的に支援

当社には20代、30代の者が10名くらいいますが、全員に技能検定を受けさせているわけではありません。本人にやる気がないのに受検させても仕方がないので、本人のやる気に任せています。もちろん、受検料は会社で負担しています。何度でも挑戦しようという意欲がある者には、すべて受検料を会社で負担しています。また、建築業の場合、技能検定とは別に建築士の資格を取る必要もありますので、建築士を目指そうと



夜間の専門学校に通う者がいますが、この場合にも学費は会社で全額負担しています。

技能士の資格を持たなくても現場でどんどん仕事をこなしていく者もいますが、やはり技能士の資格を持った者の場合は、仕事に対する意識が違っていると思います。技能士の資格を取得したことでいっそう前向きな気持ちになりますから。

建築現場では、一人前の職人でなければ建築工事ができませんので、一人前の職人を育てるためには、会社としても積極的に支援していかざるを得ません。

### 年2回の無料アフターサービスで 顧客を確保

当社には営業担当者というものがいません。昭和53年に創業し、3年後の昭和56年から「年2回の無料アフターサービス」を実施していますが、このサービスは35年間継続中です。このアフターサービスのおかげで、リピーターが増え、特別な営業をしなくても仕事がコンスタントに入ってきます。

現在400件近い客先がありますが、これらの客先を対象に、土曜日と日曜日、仕事を休んで7~8組をつかって巡回させ、年2回のアフターサービスを実施しています。そうすると、自然に見積の依頼やリフォームの注文が入ってきます。営業の専従者を1人置くよりも効率的です。





### 一生懸命に取り組もうとする者には、現場でも積極的に良い仕事をあてがう

技能士の資格を取得した者と取得していない者との仕事の上での区別はしていません。しかし、技能検定に挑戦しようとする者とそうでない者とは仕事に対する向き合い方が違ってきます。一生懸命に取り組もうとする者には、現場でも積極的に良い仕事をあてがうこととなります。技能士というのは第三者が客観的に評価したものですから、会社の中や仲間内での評価とは違いますし、あとから続く若い人たちにとっても目標となるもので、意欲の向上につながるものです。

当社で若い人材育成をしているということから、県の職業能力開発協会ともつながりができたり、佐賀県もいろいろと当社の人材育成のことを紹介してくれています。最近では人口減少とともに若い人の就職先が都市に集中してしまう傾向が強いため、地元の企業への就職支援の関係で、当社のことが紹介されることが多いです。

### ものづくりのための人づくりを大事にしたい

いまの当社のスタイル、つまり、一方で若い人たちの人材育成を継続していくとともに、もう一方では会社としてこれまでのようにアフターサービスを続けて顧客をしっかりと確保していくこと、この2つの道はずっと継続させていきたいと考えています。会社を大きくさせることよりも、いまのまま継続させていくことを大切にしたいです。

私自身がものづくりが好きなので、民間の戸建て住宅を建て続けていくことを中心にして、ものづくりを継続させていきたいです。そのための人づくりをしっかりさせていくことが大事だと考えています。

### 大工育成塾とその後の実務経験で1級技能士を取得

大工育成塾に入って3年間勉強しました。大工育成塾の3年目で技能検定の2級を受検しなければならなかったので挑戦しました。2級に合格した後は、まる3年間実務経験を積みば今度は1級の技能検定を受検できますので、今年、1級を受検して合格しました。

この会社は、大工育成塾の受入工務店でしたが、普段は会社で仕事をし、週末に福岡に出かけて講習を受けました。3年間は塾生として見習い職人として通っていました。給料はわずかでしたが、育成塾を修了すると会社に残ることができましたので、私は残って大工の仕事に就きました。

大工育成塾では、塾生は必ず2級の技能検定を受検しなければなりません。1級の技能検定については、自分からというよりも会社に勧められたこともあり受検しました。1級の技能検定では、学科はそれほどでもありませんでしたが、実技が大変でした。

1級の技能士の資格を取得したことはそれ自体としても嬉しいことですが、それをすぐに仕事につなげたいとは考えていません。むしろ、自分としては、1級技能士の資格

を前提にして、現場でもっといろいろな経験を積んでより上の技能を身につけて、腕を磨きたいと考えています。

### まずは先輩たちの声にちゃんと耳を傾けるべき

大工の仕事に就いてよかったと思うのは、仕事が完成したときの達成感があります。たまに施主の方と会ったりして、「快適に住んでいるよ」などと言われると、とてもうれしい気持ちになります。施主の方と会って言葉をかけられたことは何度かありました。

これからものづくりをしてみたいという若い人たちは、まずは先輩たちの声をきちんと聞くようにして、先輩たちの指導を受け入れられるようにすべきだと思います。私自身、どちらかという人から言われると反発してしまうような性格です。しかし、ものづくりの世界では、昔から受け継がれている技術や技能などがありますから、そうしたものをきちんと身につけるためにも、まずは先輩たちの声にちゃんと耳を傾けるべきだと思います。そのうえで、自分で納得できることを蓄積していくようにすればよいと思います。

有限会社佐々木建築で活躍する

— PROFESSIONAL SKILLS —

◇世界で戦える技能◇

# 技能士

■金ヶ江 美香 (かながえ みか)



## 1級技能士の資格を前提に、現場でもっといろいろな経験を積んでより腕を磨きたい

建築現場のニッカ姿にあこがれて大工の道に

小学生の頃、建築現場でニッカ姿で働いている人を見て格好いいと思い、なんとなく大工になりたいと考えていました。高等学校は工業高校ではなく商業高校に進み、卒業後とりあえず就職することを考え、名古屋のパン工場で2年間働きました。そのときに、同級生の女の子で名古屋で大工をしていた友達がありました。その友達と時々会って、大工の話の聞いたりするうちに、大工になる夢が次第に膨らんでいきました。

2年間名古屋のパン工場で働いたあと、やはり大工になりたいと思って佐賀に帰ってきました。佐賀に帰ってきてからは、この会社(佐々木建築)が国土交通省の「大工育成塾」の塾生

受入工務店となっていましたので、こちらにお世話になることになりました。

### 1つひとつがきちんとわかったかどうかを必ず確認しながら指導

会社に入ってきたばかりの若い人に仕事を頼むとき、これをお願いしますと言って、「はい、わかりました」と答えても、実際にはわかっていないことが多いです。入って間もない人たちは、最初は何もわからないと思います。ですから、入って間もない人たちに対しては、わかりやすいように1つひとつの作業をきちんと教えて、1つひとつがきちんとわかったかどうかを必ず確認しながら指導するようにしています。







事例5

# 株式会社プリンスホテル ザ・プリンス パークタワー東京

### 》 会社概要

企業名：株式会社 プリンスホテル  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3丁目1-5

業種：ホテル業

設立年月：1956(昭和31)年6月

資本金：36億円

従業員数：7,161名

事業内容：ホテル業

主な商品：宿泊、レストラン、宴会



## レストランサービス技能士が増えることで、 サービス向上につながり、 さらにホテルの信頼感が高まることは確実



### サービスのプロフェッショナルとして 技能士が活躍

管理リーダー (人事担当)  
**工藤 雅崇**  
(くどう まさたか)

プリンスホテルを含む西武グループでは「でかける人を、ほほえむ人へ。」をスローガンにしております。  
またそれに続く「グループ宣言」では、「お客様の行動と感動を創り出すサービスのプロフェッショナルをめざし

ます」とうたっており、ホテルをはじめ、鉄道、不動産などの各種の事業を展開するグループ内において、どの事業、どの職種においても、サービスのプロフェッショナルをめざすよう指針とされております。この「サービスのプロフェッショナル」というところが、まさしく技能士、私たちホテルの場合ですとレストランサービス技能士が、活躍する場ということになると思います。

#### ■ 技能士数

職種名	特級	1級	2級	3級
レストランサービス		36人	29人	

#### ■ 技能検定 年間受検者数

平成28年度		平成27年度		平成26年度	
受検者	合格者	受検者	合格者	受検者	合格者
1級1人 2級5人	未定	1級6人 2級7人	1級1人 2級2人	1級6人 2級9人	1級1人 2級5人



### 資格試験は必須資格と 向上資格に分類して補助

資格試験の取得については社内規程があり、資格を大きく2つに分類しています。1つは必須資格、もう1つは向上資格と呼んでいます。ホテルではホテルの運営に必ず必要な資格、たとえば防火管理者などの資格が、前者の必須資格に該当します。それ以外のスキルアップなどに関する資格は向上資格に該当します。そして、それぞれの資格について、資格試験の受検料の全額または半額を補助するという規程になっています。

全額補助と半額補助の区別は、原則として、必須資格の場合には全額補助となり、向上資格の場合には半額補助となります。なお、向上資格であっても、その資格によって全額補助となるものもあります。また、産業能率大学などの通信教育講座も用意しており、全146講座を用意していますが、こちらについては修了すれば全額を補助することになっています。

### ザ・プリンス パークタワー東京初の 女性1級レストランサービス技能検定合格者

レストランサービス技能検定については、レストランおよび宴会の部門に従事している従業員の場合、歴代、先輩の後姿

を追いかけて受検してきた者がほとんどだといえます。特に、人事部としてというよりも、部門ごとで、先輩から後輩に受検のアドバイスをしたり、あるいはOJTというべきかもしれませんが、部門ごとで試験前の対策をして試験に臨んでいる様子です。そのような姿勢もあり、レストランサービス技能検定2級の合格者はたくさんおります。1級はさらに進んだ勉強が必要で、このザ・プリンス パークタワー東京の1級合格者のうち女性は尾崎朋子1名のみです。

### レストランサービス技能士はレストランや宴会場の 責任者を任せられるかどうかの判断基準

技能士の資格を取得した場合について、その待遇や処遇に関しては、特に設けているものはありません。また、検定試験に合格したからといって特別に顕彰することはありません。しかし、技能検定に合格した場合は、レストランや宴会場の責任者を任せられるかどうかの判断基準となっています。また、これだけでなく社内の昇格試験や社内のキャプテン登用試験などの場において、レストランサービス検定の1級及び2級の取得者というのはひとつの物差しになっていると思います。

ホテル従業員の場合、ソムリエなどのようなバッジを付けることが資格の証でもあり、自信にもなります。資格を取るとい





うことは、1つのステータスにもなりますし、足跡を刻むこともできます。先輩たちがみなレストランサービス検定やソムリエ試験などには熱心に挑戦してきていますし、職場でも推奨していますので、社内的には自然に、自主的に取り組もうという雰囲気ができ上がっていると思います。試験に関しては、勉強しなければいけないものがたくさんありますので、自分たちでそれなりのモチベーションをもって取り組んでいるようです。

### レストランサービス技能検定2級には 年間平均20名くらい受検

職場における技能士の存在という点についていいますと、ザ・プリンス パークタワー東京において尾崎が女性ではじめてレストランサービス技能士の1級を取得したということは、非常に良い影響を与えてくれていると思います。当ホテルでは、月間で一番活躍した従業員をMVPとして表彰していますが、資格を取得した者はこのMVPの表彰の対象となります。資格を取ることの意義が従業員のなかで認識されており、若い人たちが積極的に資格取得に取り組もうという雰囲気を、十分に感じます。

レストランサービス技能検定は、専門学校でも3級が取得

できるので、入社してから2級、1級の取得を目指すスタッフが多いです。2級については、年間で平均約20名くらい受検していると思います。みな率先してチャレンジしています。

### レストランサービス技能士はホテル業の中では 珍しい国家資格

「レストランサービス技能士」という資格は、ホテル業の中で推奨される資格の中でも珍しい「国家資格」ですので、サービスのプロフェッショナルという意味で、レストランサービス技能士資格を持つ者が増えることは、サービス向上になり、ホテルの信頼を高めることにつながります。

また、従業員には、資格試験とともに、社内外のコンクールにも積極的に挑戦してほしいと考えています。サービスの分野や調理の分野において、ここ4~5年の間に社外のコンクールで実績を挙げてくるのが多くなりました。ザ・プリンス パークタワー東京では、技能士の資格取得をはじめ、社外のコンクールなどに挑戦することを通じて、スタッフのモチベーションとスキルを向上させ、高いおもてなし技術でお客様に喜んでいただけるホテルをめざしていきたくて考えています。



### 後輩の指導にも技能士の資格は 非常に役立つ

専門学校や検定試験の受検準備などを通じて勉強して得た知識や技術で、お客様に楽しんでいただくことができるので、その意味では技能士の資格というのは大変役に立っていると思います。しかし、資格を持っているかどうかにかかわらず、サービス業であるだけに、来ていただいたお客様に喜んで帰っていただくことが一番ですので、その役割はきちんと果たさなければなりません。

職場の中では後輩の人たちを指導していく立場にありますので、その場合でも、技能士の資格というのは非常に役に立っています。たとえば、実技の試験では、いかにして見栄えのいいサービスをするのかということが課題になっています。こうした点は、これまでも徹底的に教え込まれて勉強してきましたので、そこで身についたものは後輩への指導においても役立ち、OJTで大変役に立っています。

### チームワークを機能させ お客様に喜んでいただく

日々お客様に喜んで帰ってもらえることが使命ですので、「ありがとう」と言って帰っていただけることが何よりもです。また、私たちは1人で仕事をしているわけではなく、同じレストランのスタッフやホテル内のほかのセクションのスタッフなど、いろいろな人たちが携わってやっていることで、チームワークがうまく機能して、その結果としてお客様に喜んでいただいたときや大きな宴席が成功したときなどは、大きなやりがいを感じますし、達成感を得られます。形になって現れてくるものではないので、さらにそう感じます。

### 先輩たちの姿を見て 技能検定を受検

先輩たちが技能検定を受けている姿を見て、受検資格を得る年齢に達したときに自然に挑戦してみたいと思いました。やはり、技能検定の受検は、自分の成長の尺度といいますが、自分はこのまでできるようになったということの目



安になると思います。見える結果を出せるという意味で、検定試験の受検を考えました。受検準備としては、学科試験については会社の人材開発部が勉強会を開いて、過去の問題などを勉強する機会がありました。試験前には私自身かなり必死になり、毎朝6時に起きて出勤時間になるまで喫茶店で勉強をしました。実技試験についても、課題が発表され、受検前に人材開発部が先輩たちとともに開いた試験準備のための勉強会がとても有意義でした。

### 技能検定の受検などとおして 勉強することの大切さも伝えたい

この仕事は、先輩から教わり、今度は後輩たちに教えるということが非常に大事なのだと思っています。若い世代の人たちにこの仕事の楽しさを伝えていきたいですし、技能検定の受検などを通して勉強することの大切さも伝えたいです。そして、技能検定では、結果が出たときの楽しさを教えてあげたいと考えています。

勉強してきたことや努力してきたことは、着実に身につけていきます。先輩からは、「知識はたくさん身につけていても邪魔にならないし、知識は懐刀だからできるだけ吸収しなさい」といわれてきました。勉強は広く興味をもって自分から続けていくことが大事だと思います。



ザ・プリンス パークタワー東京で活躍する  
— PROFESSIONAL SKILLS —

## 技能士

◇世界で戦える技能◇

レストラン ブリーズヴェール  
尾崎 朋子 (おさきともこ)



## 技能検定の受検は自分の成長の尺度 見える結果を出せるのが技能検定

### 食に対する探究心から レストラン部門を選択

高校生の頃からホテル業に興味を持ち、日本ホテルスクールに進学しました。専門学校では、2か月間の現場実習が3回ありました。そこで、宿泊やレストランの実習などを体験した中で、どちらが自分に合っていて楽しいかを考えて、最終的にはレストランのほうへ進もうと決めました。

ホテルのサービスは大きく、宿泊部門、レストラン部門、宴会部門に分けられると思います。私自身は食べるのが好きで、食に対する探究心がありましたので、レストラン部門を選択しました。

学生時代にプリンスホテルで研修をしたことがあり、研修から引き続いてアルバイトも経験し、ご縁があってそのままプリンスホテルに就職いたしました。



# 技能競技大会とは

技能競技大会とは・・・

若者の就業意欲の喚起や円滑な技能継承のため、技能五輪全国大会を始めとする以下の各種競技大会が開催されています。

## 技能五輪全国大会

技能五輪全国大会は、原則23歳以下の青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会です。次代を担う青年技能者に努力目標を与えるとともに、大会開催地域の若年者に優れた技能を身近にふれる機会を提供するなど、技能の重要性、必要性をアピールする役割を担っています。

なお、国際大会が開催される前の年の大会は、国際大会への派遣選手選考会をかねています。

## 技能五輪国際大会

技能五輪国際大会は、正式には、国際技能競技大会 (World Skills Competition) と呼ばれ、原則22歳以下の青年技能者による国際的な技能競技大会です。

この大会は、参加各国における職業訓練の振興と青年技能者の国際交流、親善を図ることが目的とされています。

2年に1回開催され、日本代表選手の選考は、国際大会が開催される前の年に開催する技能五輪全国大会において行われています。

## 技能グランプリ

技能グランプリは、熟練技能者が技能の日本一を競い合う大会です。

1級技能士などが年齢制限に関係なく熟練技能を競う全国規模の技能競技大会であり、大会の優勝者には、内閣総理大臣賞、厚生労働大臣賞などが贈られます。

## 若年ものづくり競技大会

若年者ものづくり競技大会は、原則として、技能を習得中の企業等に就業していない20歳以下の若年者を対象とした競技大会です。若年者ものづくり技能に対する意識を高め、技能を向上させることにより若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図ります。

大会に関する情報や競技結果などは、ホームページをご覧ください。



<http://www.waza.javada.or.jp/>



<http://www.javada.or.jp/>

## 都道府県技能士会・連合会一覧

技能士会	住所	TEL	FAX
1 一般社団法人 全国技能士会連合会	〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町13番地 東京洋服会館6階	03-5946-8791	03-5946-8792
2 一般社団法人 北海道技能士会	〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1-1-2 道立職業能力開発支援センター内	011-815-4845	011-825-2391
3 青森県技能士会	〒030-0122 青森市野尻字今田43-1 青森県職業能力開発協会内	017-738-5561	017-738-5551
4 岩手県技能士会	〒028-3615 岩手県紫波郡矢巾町南矢幅10-3-1 岩手県立産業技術短期大学校内	019-613-4620	019-613-4623
5 宮城県技能士会連合会	〒981-0916 仙台市青葉区青葉町16-1 宮城県職業能力開発協会内	022-271-9260	022-271-9242
6 秋田県技能士会連合会	〒010-1601 秋田市向浜1-2-1 秋田県職業訓練センター内	018-863-6635	018-866-7853
7 山形県技能士会	〒990-2473 山形市松栄2-2-1 山形県職業能力開発協会内	023-644-8562	023-644-2865
8 福島県技能士会連合会	〒960-8043 福島市中町8-2 福島県自治会館5F	024-523-1755	024-523-5131
9 茨城県技能士会連合会	〒310-0005 水戸市水府町864-4 (茨城県職業人材育成センター内) 茨城県職業能力開発協会内	029-221-8647	029-226-4705
10 栃木県技能士会連合会	〒320-0032 宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館	028-643-0811	028-643-2357
11 一般社団法人 群馬県技能士会連合会	〒372-0801 伊勢崎市宮子町1211-1 群馬県職業能力開発協会内	0270-23-7761	0270-21-0568
12 埼玉県技能士会連合会	〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎内	048-833-5923	048-749-1957
13 千葉県技能士会連合会	〒261-0026 千葉市美浜区幕張西4-1-10	043-350-5124	043-296-1186
14 一般社団法人 東京都技能士会連合会	〒162-0844 新宿区市谷八幡町13番地 東京洋服会館6階	03-6228-1921	03-6228-1931
15 神奈川県技能士会連合会	〒231-0026 横浜市中区寿町1-4 かながわ労働プラザ6F	045-633-5417	045-633-5421
16 新潟県技能士会連合会	〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2 県公社総合ビル4F 新潟県職業能力開発協会内	025-283-2155	025-283-2156
17 富山県技能士会連合会	〒930-0094 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル3F 富山県職業能力開発協会内	076-432-8870	076-432-9888
18 一般社団法人 石川県技能士会	〒920-8580 金沢市鞍月1-1 石川県商工労働部労働企画課内	076-225-1533	076-225-1534
19 福井県技能士会連合会	〒910-0003 福井市松本3-16-10 福井県職員会館ビル4F 福井県職業能力開発協会内	0776-27-6360	0776-27-2060
20 山梨県技能士会連合会	〒400-0055 甲府市大津町2130-2 山梨県職業能力開発協会内	055-243-4916	055-243-4919
21 長野県技能士会連合会	〒380-0836 長野市南郷町688-2 長野県婦人会館3F	026-234-9050	026-234-9280
22 岐阜県技能士会連合会	〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ1-18 岐阜県人材開発支援センター内	058-384-1002	058-384-1002
23 一般社団法人 静岡県技能士会連合会	〒424-0881 静岡市清水区桶160番地	054-346-9361	054-346-9362
24 公益社団法人 愛知県技能士会連合会	〒451-0035 名古屋市中区浅間2-3-14 愛知県職業訓練会館4F	052-524-4423	052-524-1023
25 一般社団法人 三重県技能士会	〒514-0004 津市栄町1-891 吉田山会館1F	059-222-3145	059-253-3173
26 滋賀県技能士会	〒520-0865 大津市南郷5-2-14 滋賀県職業能力開発協会内	077-533-0850	077-533-3909
27 京都府技能士会連合会	〒612-8416 京都市伏見区竹田流池町121-3 京都府立京都高等技術専門校(京都府職業能力開発協会)内	075-642-5075	075-642-5085
28 一般社団法人 大阪府技能士会連合会	〒550-0011 大阪市西区阿波座2-1-1 大阪本町西第一ビルディング6F	06-6534-7010	06-6534-7511
29 兵庫県技能士会連合会	〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-3-30 兵庫勤労福祉センター内	078-371-2101	078-371-2095
30 奈良県技能士会連合会	〒630-8213 奈良市登大路町38-1 奈良県中小企業会館内	0742-24-4127	0742-23-7690
31 和歌山県技能士会連合会	〒640-8272 和歌山市砂山3-3-38 和歌山技能センター内	073-425-4555	073-425-4773
32 鳥取県技能士会連合会	〒680-0845 鳥取市富安2-159 久本ビル5F 鳥取県職業能力開発協会内	0857-22-3494	0857-21-6020
33 島根県技能士会連合会	〒690-0048 松江市西郷島1-4-5 SPビル2F	0852-23-1707	0852-22-3404
34 岡山県技能士会連合会	〒700-0824 岡山市北区山下2-3-10 アミノビル3F 岡山県職業能力開発協会内	086-225-1548	086-234-1806
35 広島県技能士会連合会	〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 県情報プラザ5F 広島県職業能力開発協会内	082-245-4020	082-245-4858
36 山口県技能士会連合会	〒753-0074 山口市中央4-3-6 山口県職業能力開発協会内	083-922-8646	083-922-9761
37 徳島県技能士会連合会	〒770-8006 徳島市新浜町1-1-7 徳島県職業能力開発協会内	088-662-5366	088-662-0303
38 香川県技能士会連合会	〒761-8031 高松市郷東町587-1 香川県職業能力開発協会内	087-882-2854	087-882-2962
39 愛媛県技能士会	〒791-1101 松山市久米窪町487-2 愛媛県産業技術研究所 管理棟2F	089-993-7301	089-993-7302
40 一般社団法人 福岡県技能士会連合会	〒813-0044 福岡市東区千早5-3-1 福岡人材開発センター内	092-661-0714	092-671-1354
41 佐賀県技能士会連合会	〒840-0814 佐賀市成章町1-15 佐賀県職業能力開発協会内	0952-24-6408	0952-24-5479
42 長崎県技能士会連合会	〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷547-21 技能・技術向上支援センター内	095-894-9971	095-894-9972
43 一般社団法人 熊本県技能士会連合会	〒861-8038 熊本県熊本市東区長嶺東8-1-88 3F	096-389-1611	096-285-1671
44 一般社団法人 大分県技能士会連合会	〒870-1141 大分市大字下宗方字古川1035-1 大分県職業訓練センター内	097-542-6849	097-542-0996
45 宮崎県技能士会連合会	〒889-2155 宮崎市学園木花台西2-4-3	0985-58-1553	0985-58-1553
46 鹿児島県技能士会連合会	〒892-0836 鹿児島市錦江町9-14 鹿児島県職業能力開発協会内	099-226-3240	099-222-8020
47 一般社団法人 沖縄県技能士会連合会	〒900-0036 那覇市西3-14-1 沖縄県職業能力開発協会内	098-863-1116	098-866-4964



# 国家検定 「技能検定」のご案内



技能検定とは、働くうえで身につける、また必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度で、試験に合格すると合格証書が交付され、「技能士」と名乗ることができ、平成27年度までに延べ602万人の技能士が誕生しています。

技能検定は、機械加工、建築大工など各都道府県で行われている111職種と、機械保全、ファイナンシャル・プランニングなど指定試験機関で行われている15職種で実施され、職種により前期・後期で行います。

また、試験は、実技試験と学科試験で行い、技能のレベルにより特級、1級、2級、3級に区分するもの、単一等級として等級を区分しないものがあります。

詳しくは、技能検定制度等に係るポータルサイト「技のとびら」(次ページ)をご参照ください。

# 技のとびら

## 技能検定制度等に係るポータルサイトのご案内

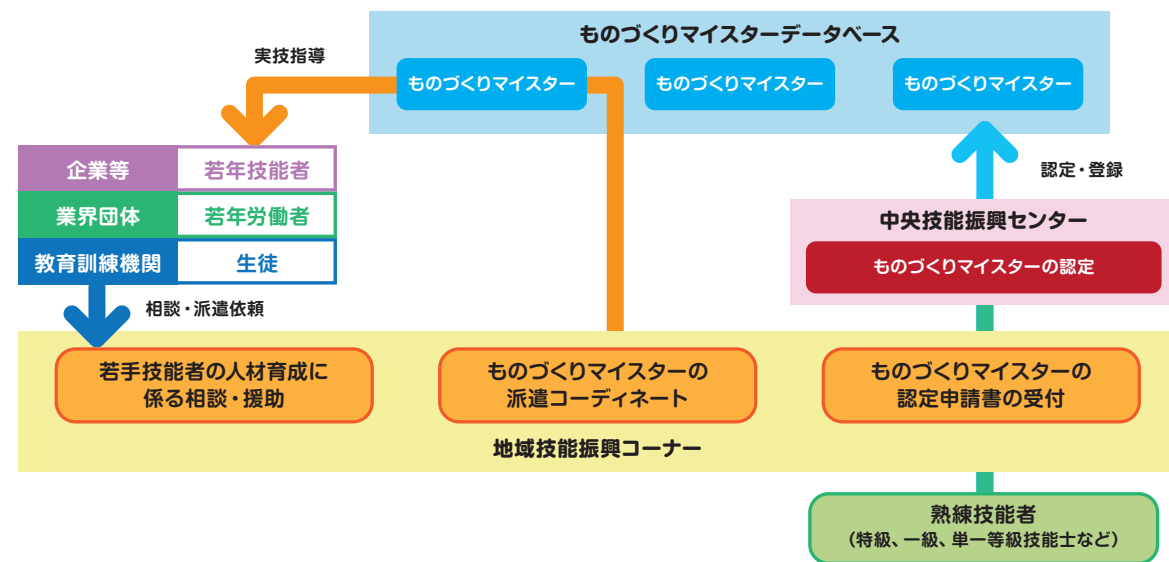
「技のとびら」では、身近でありながら知らない多くの仕事(技能士の職種)について分かりやすく紹介しているほか、技能検定試験、技能競技大会、地域で行う技能イベント等の詳細もご紹介しています。

# 厚生労働省 「ものづくりマイスター制度」 のご案内



「ものづくりマイスター制度」では、建設業及び製造業における100を超える職種を対象に、高度な技能を持ったものづくりマイスターが、技能検定や技能競技大会の課題を活用し、中小企業や学校において広く実技指導を行い、技能尊重気運の醸成を図るとともに効果的な技能の継承や後継者の育成を行っています。また、小中学校等での講義や「ものづくり体験教室」等により、「ものづくりの魅力」を発信しています。

### ものづくりマイスター制度の仕組み



ものづくりマイスターの派遣コーディネーターは、地域技能振興コーナーが無料で行います。また、ものづくりマイスターの派遣費用や指導に係る材料費は、規定の範囲内で、地域技能振興コーナーが負担します。派遣コーディネーターの相談に関する詳細は、お近くの地域技能振興コーナーにお尋ねください。



詳しくは

ものづくりマイスターデータベース

検索



詳しくは

技のとびら

検索





一般社団法人 全国技能士会連合会  
<http://www.takuminowaza.net>

**JAVADA**  
JAPAN VOCATIONAL ABILITY DEVELOPMENT ASSOCIATION